

わがまち♥スポーツ推進プラン
『相撲のまち たけはら』



竹原市の取組・環境

<竹原市での取組・環境>

【活動】

- 県内唯一の竹原高校の相撲部（平成 1 5 年～）
- 日本武道協議会から大川道場が、少年少女優良団体表彰を受賞（令和 6 年度）

【環境】

- 国技ともいえる「相撲」を継承する土壌が整っている。
- 幼少期から相撲を教わる環境がある。（大川道場、至誠会）
- 屋外相撲場（平成 3 年建築）、屋内相撲場（平成 1 4 年建築）が整備されている。

【大会】

- 第51回国民体育大会(広島国体)相撲をバンブー総合公園で開催（平成 8 年）
- 広島県予選会の開催や全国大会につながるわんぱく相撲竹原場所広島県大会が開催され、市内外から多くの参観者がある。

【人材】

- 竹原高校相撲部から選手が大学へ進学し、角界へ輩出してきた。
- これまで多くの選手が全国大会へ出場してきた。
- 竹原に実績があり熱意のある指導者が多数存在する。（広島県相撲連盟＝竹原市）
- 広島県相撲連盟の主たる事務局が、竹原市関係者

竹原市の現状（市民アンケート）

市民アンケート結果（R7.7.29～8.31）

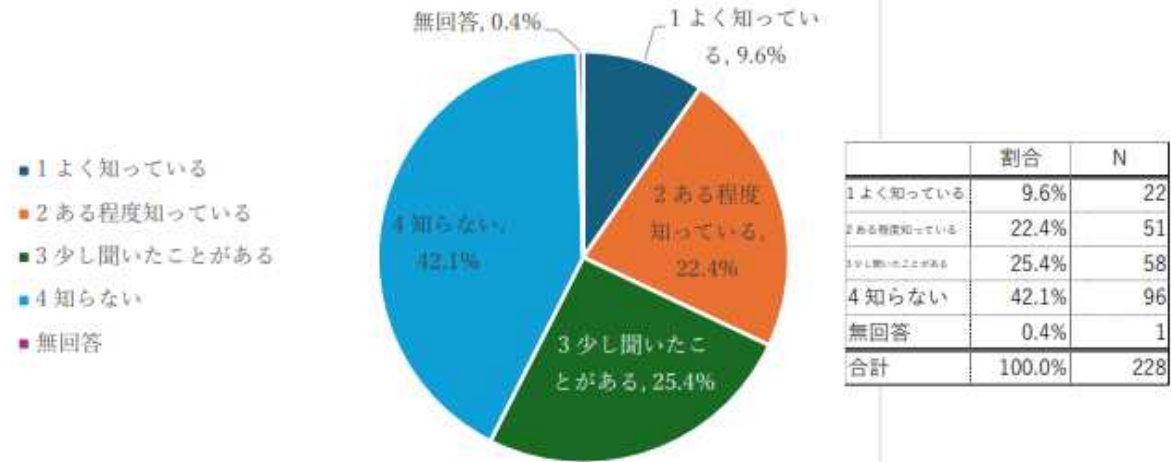
○竹原市で相撲が長年受け継がれている理由や歴史について知っていますか。

【コメント】

- ・全体で32.0%の認知度がある
- ・50～70歳代男性が歴史認知度が高い傾向がある

【その他メモ】

- ・竹原高校相撲部活動は55.6%の認知度がある



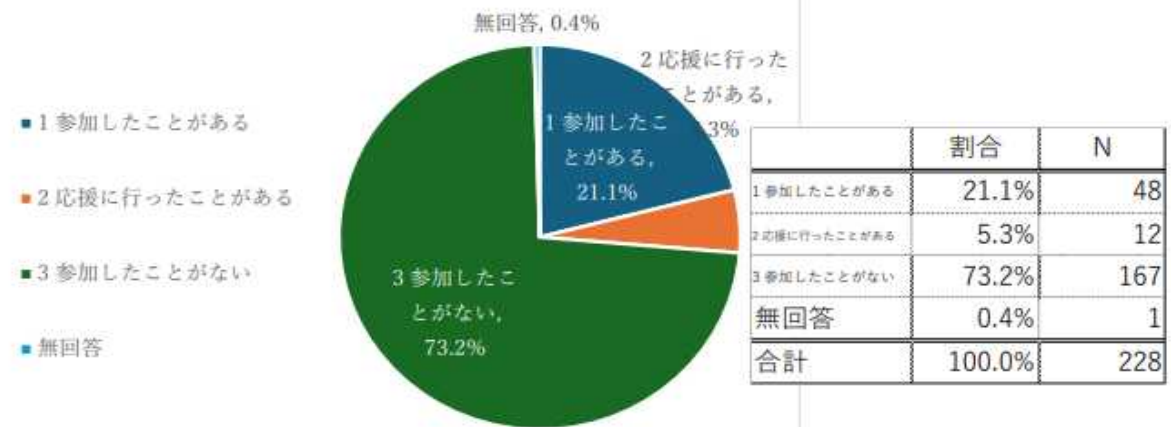
○あなた、または、あなたの家族や知人が竹原市の相撲大会や相撲イベントに参加したことがありますか？

【コメント】

- ・30歳代以降に参加経験が高い
- ・応援に行ったことがあるは女性が多い

【その他メモ】

- ・参加できなかった理由として、『イベントを知らなかった』『参加する時間がなかった』の理由が、53.4%となっている
- ・また、竹原市で相撲大会や相撲イベントが行われているのを知っていた人は55.1%で20歳代以外は認知がある。また、そのうち過去へのイベント参加率は、全体32.8%で、特に男性が多い



竹原市の現状（市民アンケート）

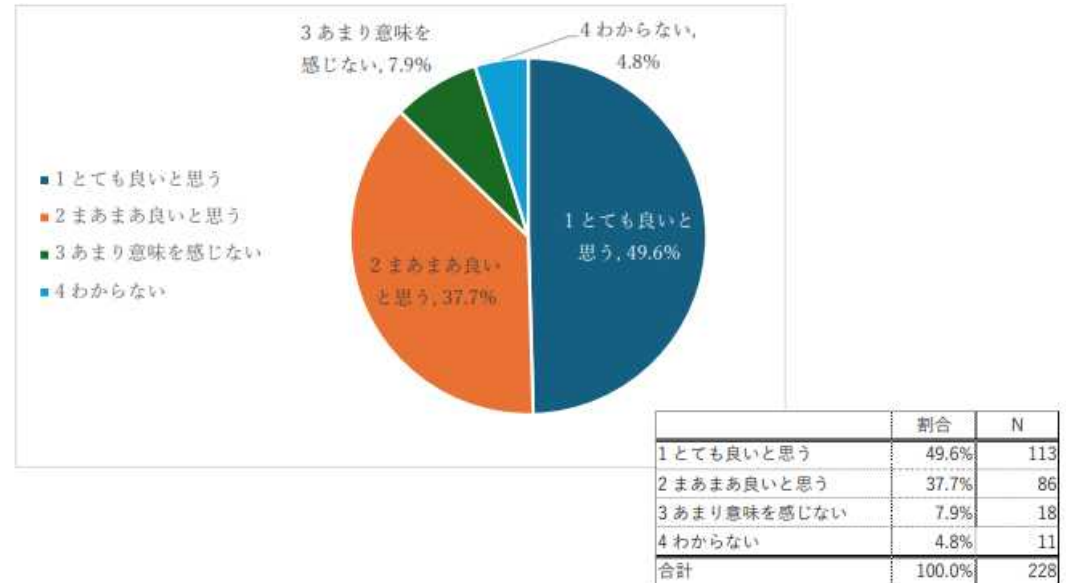
○相撲を活用してまちを盛り上げることに、どう思いますか？

【コメント】

- ・「相撲を活用してまちを盛り上げること」への市民の想いは、TOP2(87.3%)と非常に高い
- ・特に将来の人材となる高校生の反応が高い
- ・男女ともに40歳代以降の反応が高い

【その他メモ】

- ・相撲を活用した「まちづくり」に期待するものは、
『伝統文化を大切にする活動につながる』
『地域に賑わいが生まれる』
『子供や若者のまちづくりに関わる経験につながる』
などの意見が多い



○あなたが相撲を応援したり楽しんだりするために、どのような参加の形があれば関心を持ちやすいですか？（複数回答可）

【コメント】

- ・『グルメ・フェスを楽しみながら相撲に触れられる催し』『観るだけのイベント』『力士との交流やトークショー』が多い

【その他メモ】

- ・このようなイベントが開催されたら参加したいと思いますか？に対し、『ぜひ参加したい』（11.0%）、『機会があれば参加したい』（21.0%）、『見るだけならよい』（43.0%）となっている
- ・その他自由記述では『地元応援』『市全体でのPR』『イベント開催』『幼少期からの体験』といった声があがっている。



竹原市の現状と課題

＜現状と課題＞

【市民アンケートから】

- 竹原市で相撲が長年受け継がれている理由や歴史の認知度が低い。
- 竹原高校相撲部の活動を知らない市民もいる。
- 竹原市内で開催している相撲大会等に参加したことがない人が多い。

【相撲関係者の聞き取りから】

- 相撲をする児童や、竹原高等学校相撲部員が減少している。
- 相撲場の老朽化が進んでいる。観客席の環境改善が必要である。
- 相撲に関わる人や指導者が限られている。

竹原市の強みと目指す姿

竹原の強み

◆相撲

- 県内唯一の竹原高校相撲部
- 「相撲」を継承する土壌がある。
- 幼少期から相撲を教わる環境がある。
- 市内で多くの大会を開催
- 地元から角界へ力士を輩出
- 相撲を教える指導者がいる。



◆地域資源

- 古くからの歴史や伝統が残る町並みや祭りがある。
- 「文教のまち」として矜持が息づいた文化活動等がある。
- 先人が関わり継承してきた文化・伝統がある。
- 年間約80万人の観光客が訪れる。



<竹原市の目指す姿（案）>

竹原市と相撲がこれまで継承してきた歴史や文化や、本市地域資源と相撲のそれぞれが持つ強みを生かしつつ、地域と結びつきを深めることで、市民にとって豊かなスポーツライフや、元氣と笑顔があふれるまちの実現を旨指す。



竹原市わがまち♥スポーツの取組の方向性



取組の方向性

○ 相撲の認知度向上

～相撲の活動、歴史を知ってもらう～

竹原高校相撲部や団体等の活動を発信することにより、活動を広く知ってもらう機会を増やす。相撲の歴史、雑学、体操等を学ぶ機会をつくり、認知度を向上させる。

○ 相撲人口等の裾野拡大

～相撲にふれあう機会を創出する～

こども園、小学校やイベント等での相撲体験など、幼少期に相撲にふれあう機会を創出し、相撲を身近に感じてもらう。

○ 相撲に関わる人の拡大

～相撲で地域の結びつきを深め、伝統を継承する～

地域や地元飲食店との連携によるイベント開催やグルメ開発、ネーミングライツ等の活用などを通じて、参加者、応援者を増やしつつ、継続的な大会開催と指導者育成により相撲の文化と伝統を守り、次世代に継承していく。

竹原市わがまち♥スポーツの事業計画

事業計画

令和8年度

令和9年度

令和10年度

認知度の向上

～活動を知ってもらう～

①広報誌等での 情報発信

②講座の開催

③相撲部の活動

①広報誌、HP、SNSで団体や学校等が行う活動の情報発信

②竹原ときめき講座で相撲の歴史等について学ぶ

③竹原高校相撲部の活動・相撲部の継承

相撲人口等の裾野 拡大

～ふれあう機会を創出
する～

①スポーツ教室 の開催

②イベント等での 体験活動、こども 園への訪問活動

①小学校授業での相撲体験教室の開催

②イベント等での相撲体験・こども園への訪問活動

②トップアスリート教室
(拡充)に力士を招聘し
た相撲イベント開催による
体験活動

・相撲に関わる人 の拡大

～相撲で地域の結びつきを
深め、伝統を継承する～

①竹原ちゃんこ 鍋の開発

②ネーミング ライツ募集

③イベント・ 大会の開催

④指導者等の育 成

①竹原ちゃんこ鍋レシピ
コンテストの開催

①優秀賞を給食で提供

①竹原ちゃんこ鍋を市内店舗に普及

②相撲場のネーミング
ライツ等導入検討

②その費用でイベントの開催や相撲場の整備

③わんぱく相撲の開催、中国大会等の開催

④相撲文化の継承、指導者の育成

竹原市わがまち♥スポーツのロードマップ

ロードマップ

令和8年度

令和9年度

令和10年度

令和12年度

認知度の向上

- ◎ 広報誌等での情報発信（10回）
- 広報たけはらで企画連載
- ときめき講座の開催

- ◎ 広報誌等での情報発信（15回）
- ときめき講座の開催

- ◎ 広報誌等での情報発信（20回）
- ときめき講座の開催

・竹原市で相撲が長年受け継がれてきた理由や歴史を知る人が増え、市全体で相撲をする仕組みが整っている。

相撲人口等の裾野拡大

- 小学校授業での相撲体験教室の開催（1校）
- ◎ こども園で相撲体験（2園）
- ◎ イベントでの相撲体験（100人）

- 小学校授業での相撲体験教室の開催（3校）
- ◎ トップアスリート教室（拡充）準備
- ◎ こども園で相撲体験（延べ4園）
- ◎ イベントでの相撲体験（150人）

- 小学校授業での相撲体験教室の開催（6校）
- トップアスリート教室（拡充）力士招聘イベント
- ◎ こども園で相撲体験（延べ6園）
- ◎ イベントでの相撲体験（200人）

・幼少期に相撲を体験したことがある人やイベントで相撲を体験した人が増え、相撲大会やイベントへの参加につながっている

相撲に関わる人の拡大

- ◎ 竹原ちゃんこ鍋レシピコンテスト（30人応募）
- ◎ 相撲大会の開催等（160人）
- ◎ ネーミングライツ、クラウドファンディング導入検討

- 竹原ちゃんこ鍋給食での提供（年1回程度）
- ◎ 竹原ちゃんこ鍋市内店舗普及
- ◎ 相撲大会の開催等（190人）
- ◎ 施設の整備検討

- 竹原ちゃんこ鍋給食での提供（年2回程度）
- ◎ 竹原ちゃんこ鍋市内店舗普及
- ◎ 相撲大会の開催等（300人）

・相撲に関わる人が増え、相撲の文化・伝統の継承につながっている。また、相撲をきっかけにまちがにぎわっている。

◎ は関係者共通、○ は市主体

竹原市わがまち♥スポーツの事業

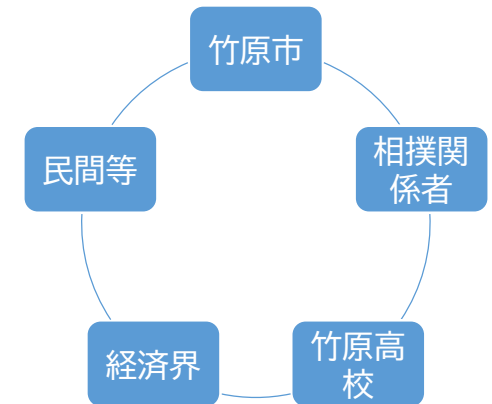
令和8年度の事業

事業内容	金額（千円）
【相撲の認知度向上】 1 広報たけはらへの相撲連載記事(年4回)の連載。 2 竹原市HPや公式SNSでの情報発信 3 たけはらときめき講座で相撲の歴史等を学ぶ。	10
【相撲人口等の裾野の拡大】 1 小学校授業でのスポーツ教室の開催 2 竹原高校相撲部が市内こども園に訪問・体験活動 3 イベントでの相撲体験	0
【相撲に関わる人の拡大】 1 たけはらちゃんこ鍋レシピコンテストの開催 2 ネーミングライツ・クラウドファンディングの導入検討	290
計	300

竹原市わがまち♥スポーツの実行体制

実行体制

名称	役割
相撲関係者(相撲連盟、大川道場、至誠会)	相撲選手の育成、裾野拡大
竹原高等学校相撲部	相撲選手の育成
竹原青年会議所	わんぱく相撲大会の開催
竹原市飲食組合	竹原ちゃんこ鍋市内店舗普及
民間等	相撲関係者への応援
竹原市教育委員会	スポーツ教室の開催、情報発信



3～4ヶ月に1回会議を開催し、わがまちスポーツの事業進捗や、それぞれが持つ情報を共有する。

竹原市わがまち♥スポーツの目標

短期目標

- 広報たけはら、市HP・SNS等でわがまちスポーツに関する情報を発信することで、相撲の認知度を向上させる。（市民アンケートでの相撲の認知度：R7年:32%→R10年:50%以上）
- こども園や小学校・義務教育学校（前期課程）授業での相撲体験を実施し、相撲にふれあう機会を創出する。（R7年:2校→R10年:9校）
- 相撲大会等の相撲イベントに多くの方が参加、又は関わっている。
（R7市民アンケートでのイベント参加、応援割合：（R7年:26.4%→R10年:36%以上）

長期目標

- 相撲をきっかけに、地域の応援者が拡大し、まちに賑わいが創出されている。
（R12市民アンケートで、にぎわいが生まれていると感じる人の割合：全体の50%）